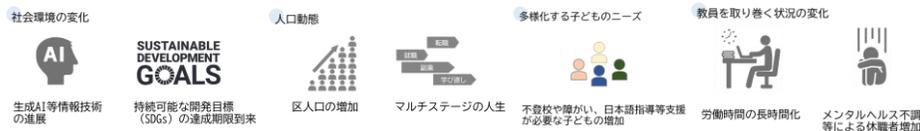


第1章 策定方針(1ページ~)

- 国や東京都の教育政策の変化を踏まえつつ、次期基本構想・基本計画・教育大綱と連携を図りながら、2035年までの10年間の施策体系を定め、総合的・計画的に推進する指針「MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035- (以下、「ビジョン」という。)」を、また、そのアクションプランとして2028年までの3年間の事務事業を掲載した「MIRAI SCHOOL いたばし -アクションプラン2028- (以下、「プラン」という。)」を策定する。
- ビジョンの実効性を高めるため、毎年度、「教育委員会が行う点検・評価」で得られた意見や評価結果を次年度に向けた事業の見直しや改善などに活かす。また、3年または4年ごとにプランを策定し、ビジョンで掲げた施策の進捗状況を把握し、プランの見直し、改善を図ることで教育行政の着実な推進を図る。



第2章 板橋区を取り巻く状況(7ページ~)



第3章 教育ビジョン2025の振り返り(19ページ~)

- 基礎学力の向上や特別支援教育の充実、保幼小中の連携強化、放課後の居場所創出、学校と地域の協働体制の構築、中央図書館を中心とした読書活動の推進等の取組を展開。これらは着実に成果を上げているが、2035年を見据えると、さらなる充実と変革が必要。

ポイント

一人ひとりが成長と幸せを実感するために求められる教育の変革

- 個別最適な学び・協働的な学びの一体的充実
- 誰もが学び続けられる環境の整備
- すべての子どもの学びを保障するための多様な学びの推進
- ICTの活用
- 教員の働き方改革や家庭・企業・NPO等、多様な主体との連携

第4章 これからの板橋区の教育(33ページ~)

基本的な考え方・方向性

(1) 最も大切にする考え方

教育は人が幸せに生きるためにあります
 教育を通して、学ぶ喜びや成長する喜び、人とつながる喜びを感じられる一人ひとりの生涯

(2) 私たちは何をめざすのか

MIRAI SCHOOL いたばし

すべての教育施策を通じて、区民一人ひとりが学び教え合う中で「5つのチカラ(=MIRAI)」をはくくみ、いたばし全体を学びのキャンパス(=SCHOOL)へと広げていきます

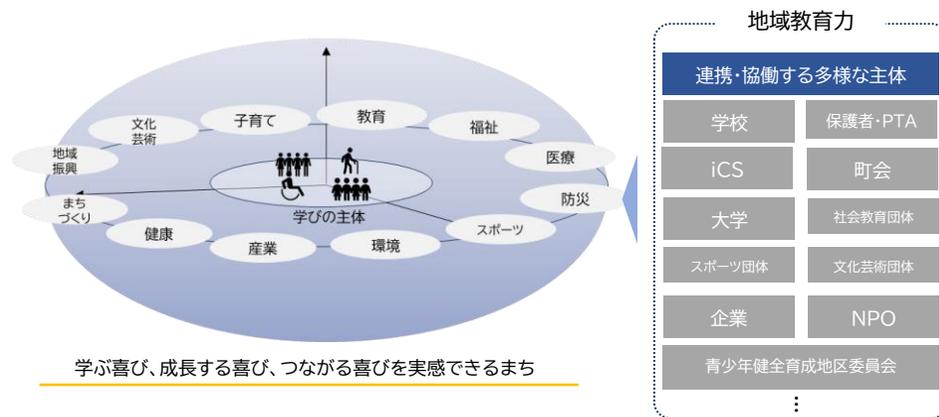
- Motivation / 自分らしく進むチカラ** ありのままの自分を受け入れることで、仲間とともに成長し、未来に進む原動力を持つことができる(自己受容・他者信頼・他者貢献)。
- Inclusion / 認め合って生きるチカラ** 個性や立場が違って、人の話に耳を傾け、力を合わせて問題を解決できる(共生)。
- Relation / つながり助け合うチカラ** まわりの人を助けるために、社会に貢献するために、自分ごととして誰かのためにできることを探し行動することができる(貢献)。
- Activation / 自ら行動を起こすチカラ** やるべきことを、自ら考え、判断し、自分から挑戦することができる(自立)。
- Innovation / ゼロから切り拓くチカラ** 目に見えない課題に気づき、正解のない課題でもゼロからイチを創り出すことができる(創造)。

(3) 私たちはどのように行動するのか



(4) いたばし全体を学びのキャンパス

- 区長部局や地域団体、企業、大学、NPOなど多様な主体との連携・協働を推進し、新たな学びの機会を創出する取組を増やしていくことで、いたばし全体を学びのキャンパスへと広げる。



区民一人ひとりの幸せ

計画体系

方向性	施策	事業 ※ () は取組の例示	成果指標	基準値	目標値
1 子ども一人ひとりの可能性を伸ばす、伸ばす教育の実現	1-1 豊かな遊びと体験を通じた幼児期の学びの充実	① 幼稚園における豊かな遊びと体験の推進 ② 私立幼稚園における幼児教育の質向上のための支援	・主体的に遊びに取り組む園児の割合 ・主体的な遊びを通じた学びを意識して幼児教育を実施している幼児教育施設の割合	-	90% 75%
	1-2 保幼小接続・小中一貫教育の推進	① 幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との連携促進 ② 小中一貫教育の推進（イェナプランの要素を取り入れた教育活動の展開）	・幼児教育・保育施設と小学校の連携実施率 ・全国学力・学習状況調査平均正答率 ・自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合	- +2.8% 85%	80% +3% 90%
	1-3 確かな学力の育成	① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実（板橋区授業スタンダードSの推進） ② 国際理解教育の推進	・全国学力・学習状況調査平均正答率 ・全国学力・学習状況調査 児童・生徒意識調査(主体的に学ぶ力) ・全国学力・学習状況調査 児童・生徒意識調査(探究的な力)	+2.8% +1.2% +1.1%	+3% +3% +3%
	1-4 豊かな心と健やかな体の育成	① 福祉教育の充実（道徳教育、人権教育の推進） ② いじめの防止 ③ 体育健康教育の充実 ④ 学校保健、学校給食、食育の充実 ⑤ 体験・交流活動の充実（ユネスコスクールの推進）	・体育の授業が楽しいと回答する児童・生徒の割合 ・自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合 ・朝食を食べる習慣のある児童・生徒の割合	73.5% 85% 91.8%	80% 90% 93%
	1-5 特別支援教育・日本語指導等多様な教育的ニーズへの対応	① 特別支援教育環境の整備 ② 特別支援教育の指導の充実 ③ 特別な教育的ニーズに応じた外部人材の活用 ④ 日本語指導が必要な児童・生徒への対応（日本語学級の拡充） ⑤ 多様な教育的ニーズへの対応	・特別支援教室における児童・生徒の目標達成率 ・日本語学習初期支援事業の実施延時間数	33% 1,734時間	43% 3,870時間
2 子どもの学びと成長を支える人や環境づくり	2-1 安心・安全に学べる居場所の充実	① 多様な学びの場の確保・連携（教室以外の居場所） ② 総合的な教育相談体制の整備・充実	・学校内外で専門機関等の相談・指導等を受けている不登校児童・生徒の割合 ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と思う児童・生徒の割合	74.1% 66.4%	95% 80%
	2-2 教員の育成・働き方改革の推進	① 教員業務の軽減・効率化（業務改善） ② 教員を支える体制の強化（資質能力向上） ③ 学校園を支える体制強化（人的体制整備）	・月あたりの時間外等在校時間が45時間を超える教員の割合 ・研修機会や自己研鑽等を通じ、日常的に教員としての専門性を高める取組や授業革新を行っている教員の割合 ・校務DXの推進により業務効率が向上したと感じる教員の割合	24.9% - -	0% 95% 90%
	2-3 新しい時代の学びを表現する学校環境の整備	① 新しい時代の学校づくりの推進（オープンスペース、教科センター方式） ② 学校の長寿命化改修 ③ あいキッズの環境整備 ④ 区立学校におけるゼロカーボンいたばしの推進 ⑤ 給食用設備・備品の更新等 ⑥ 学校におけるICT環境の整備 ⑦ 学校プールのあり方を踏まえた環境整備	・学校施設整備の進捗率 ・区立小中学校における過小規模校の割合	0% 4.1%	100% 0%
	2-4 学校・家庭・地域の連携・協働	① 板橋区コミュニティ・スクール（iCS）の推進 ② 家庭教育支援の充実 ③ あいキッズの推進（受入時間の拡大） ④ 青少年の健全育成 ⑤ 部活動の地域移行・地域展開の推進	・板橋区コミュニティ・スクール（iCS）の仕組みを活用し、地域と一体となって子どもたちをはぐくんでいる学校の割合 ・あいキッズ利用者満足度調査結果「成長できた」「どちらかといえば成長できた」の割合 ・家庭での子どもに対する生活習慣などの教育への支援がされていると思う保護者の割合 ・地域の活動に参加したいと思う児童・生徒の割合	58% 64.3% 72% 76%	78% 75% 82% 86%
3 生涯にわたり学び続けられるしくみづくり	3-1 生涯にわたり学び・活躍できる環境の整備	① 区民が教え学び合う循環に向けた取組の推進 ② 社会教育人材のつながり構築 ③ 社会教育施設の充実（成増生涯学習センター改修）	・現在積極的に学んでいることがある区民の割合 ・若者向け社会教育事業の企画・運営に携わった延人数	75.5% 122人	80% 210人
	3-2 生涯を通じた読書活動の充実と支援	① 子どもの読書活動の推進（絵本のプレゼント事業） ② 区立学校における読書活動の推進 ③ 知の拠点としての図書館の充実 ④ 本を通じた交流と活動が生まれる場の創出	・区民1人あたりの図書館利用回数 ・児童・生徒1人あたりの年間図書貸出冊数（学校図書館）	5.2回 児童44.1冊 生徒4.0冊	5.8回 児童49冊 生徒4.8冊
	3-3 文化財の保存・活用	① 多世代に向けた地域文化財の魅力公開事業 ② 文化財の適切な保存と効果的な活用を実現する収蔵施設の確保 ③ 近代化遺産としての史跡公園整備 ④ 歴史遺産調査・公開事業	・文化財指定・登録の進捗率 ・過去1年間文化財にふれた区民の割合	3.0% 8.9%	7.0% 16.4%
4 活動を支える基盤づくり	4-1 教育行政の着実な推進	① 教育行政の戦略的な情報発信の充実（区民との対話の機会充実） ② 教育委員会運営・教育施策の進捗管理	・「MIRAI SCHOOL いたばし」を知っている割合 ・教育計画の進捗達成率	7.1% 0%	100% 100%